

令和4年度 研究概要

<p>所属名</p> <p>カリキュラムセンター</p>	<p>研究会議名</p> <p>特別活動研究会議</p>
<p>研究主題</p>	<p>よりよい社会を自ら創り出せる児童・生徒の育成 ～小中9年間を見据えた学級活動(1)の実践研究～</p>
<p>資質・能力 育成を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係を形成する力（人間関係形成） ・社会に参画する力（社会参画） ・自己を生かす力（自己実現）
<p>研究内容</p>	<p>教育基本法第1条に「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない」と社会を形成することができる人物を育成することの重要性が示されている。今般の学習指導要領改訂の理念、「社会に開かれた教育課程」では、学校教育と実社会との繋がりの大切さが示された。また、学習指導要領解説特別活動編では、『社会参画』は、よりよい学級・学校生活づくりなど、集団や社会に参画し様々な問題を主体的に解決しようとするという視点である。（中略）学校は一つの小さな社会であると同時に、様々な集団から構成される。学校内の様々な集団における活動に関わることが、地域に対する参画、持続可能な社会の担い手になっていくことにもつながっていく。（後略）」と小さな社会である学校で、社会参画に必要な力を育むことの必要性が示された。さらに、本市のキャリア在り方生き方教育では、「（前略）子どもたちの社会的自立に向けて必要な能力や態度を、成長段階に応じて系統的・計画的に育む教育を推進します。」と説明している。</p> <p>これらのことから、実社会に出る前の学校段階において、学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成する学級活動（1）に対する期待はより大きくなってきていると考えた。</p> <p>そこで、本研究会議では、児童生徒が学校を卒業し予測困難な実社会で働き、活躍できるようになることを目指し、社会参画する力に重点を置いて授業改善を考え、日々の学級活動が資質・能力の育成に向けて効果的に行われるよう、授業デザインについて実践・検証し、研究することとする。</p>